

# Japan Beverage

## Japan Beverage Report 2015

人に、街に、地球にうるおいを





# CONTENTS

## Japan Beverage Report 2015

編集方針	01
ジャパンビバレッジグループの概要	02
トップメッセージ ジャパンビバレッジグループは、人々に潤いを届ける “総合食品オペレーター”として、この社会を、 より豊かな未来へとリードしてまいります。	03
<hr/>	
モットーをカタチに 「いちばん」を「ちゃんと」届けたい	
特集 1-1 カップ自動販売機事業	05
特集 1-2 パッケージ自動販売機事業	07
特集 1-3 リテール事業	09
<hr/>	
特集 2 ジャパンビバレッジはお客様と共に 持続可能な社会の実現に力をそそぎます	11
<hr/>	
特集 3 地域に根ざした 独自の活動を進めています	13
<hr/>	
特集 4 JB環境ネットワーク会は 循環型社会の構築に取り組めます	15
<hr/>	
環境マネジメント&パフォーマンス報告	16
第三者意見	18



### 編集方針

本レポートは、ジャパンビバレッジグループの理念と事業の現状、および環境の取組みを紹介する会社案内と環境報告書の役割を果たします。ステークホルダーの皆様に分かりやすくお伝えすることを目的に発行しています。

#### 参考ガイドライン

環境報告ガイドライン2012年版

#### 報告対象範囲

ジャパンビバレッジグループ  
※環境報告データの対象範囲が異なる場合は、範囲を別途記載しています。

#### 報告対象期間

2014年4月1日～2014年12月31日  
※2014年度より12月決算に変更したため、2014年度の報告対象期間は9か月となります。  
※一部、対象期間外の取組みも紹介しています。

#### 発行

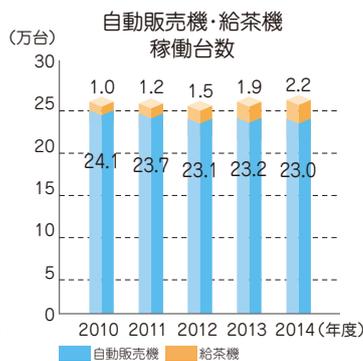
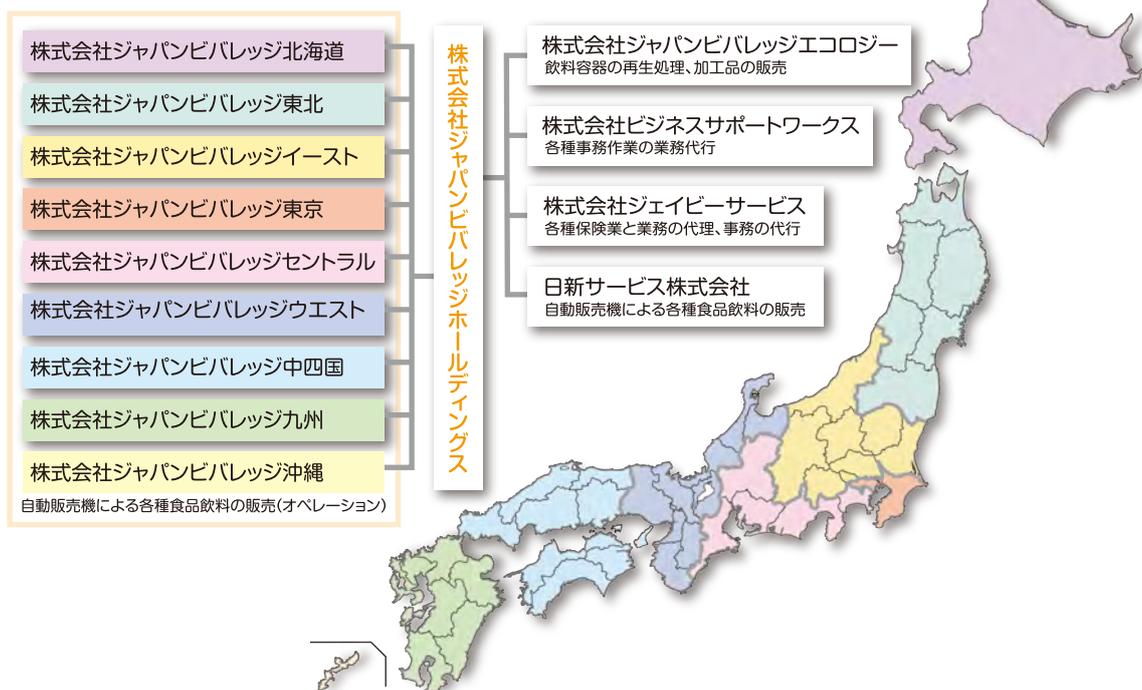
2015年5月(次回2016年5月予定)

## ジャパンビバレッジグループの概要

### ジャパンビバレッジホールディングスの事業概要

社名 株式会社ジャパンビバレッジホールディングス  
 本社 東京都新宿区西新宿一丁目24番1号 エステック情報ビル  
 創業 1958年7月 ※組織改編に伴い、2010年7月ジャパンビバレッジホールディングスを設立  
 資本金 5億円  
 事業内容 グループ全体の経営戦略の策定・推進  
 自動販売機による各種食品飲料の販売

### ジャパンビバレッジグループ



# ジャパンビバレッジグループは、人々に潤いを届ける“総合” この社会を、より豊かな未来へとリードしてまいります。

## 自動販売機専門オペレーターNo.1企業として

ジャパンビバレッジグループは1958年の創業以来、自動販売機専門オペレーターとして、魅力ある商品と最高のサービスを通じて皆様に潤いを提供し、喜びに満ちた空間と出逢いを創造する事を理念に事業活動を続けてまいりました。

現在は、北は北海道から南は沖縄まで全国で約23万台の自動販売機を運営させていただいております。また、給茶機・オフィスコーヒーによるリフレッシュ空間のトータルサポート、企業内や複合ビルなどでの有人売店の運営も行っております。

どんな場所でも、どんな時代でも、人のそばには飲み物があり、よりおいしく、質の高い飲み物への欲求があります。私たちは自動販売機専門オペ

レーターとしてその欲求にお応えするため事業を続けてまいりました。それぞれの場面でジャパンビバレッジグループをご愛顧いただいております皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

## 環境へのさらなる取組みで次のステージへ

ジャパンビバレッジグループでは持続可能な社会の創造を目指し、事業活動に伴う環境負荷低減に取り組んでいます。基本テーマには「グリーン・オペレーション」を定め、これまでサービスや自動販売機オペレーションに関わる様々な場面で環境保全活動を実施してまいりました。

本年度は事業活動の原点に立ち戻り“コーヒーをもっと便利に、もっと美味しく、より省エネに、より



# 食品オペレーター”として、

省スペースで”をコンセプトに新型の紙カップ式自動販売機「Smart Café」(スマートカフェ)を展開致します。従来機と比べた主な特徴として「コンパクトサイズで1杯取りドリップコーヒーをホット飲料とアイス飲料の両方がご提供できること」、また「真空断熱材を搭載した温水タンク」や「高効率制御製氷機」などを搭載し、業界トップの低消費電力量を実現したことが挙げられます。そして、環境に優しいグリーン購入法適合冷媒も採用しており、環境面にも配慮した自動販売機となっております。

また、販売後に発生する飲料空容器については、自社で再資源化を実施するために設立した「リサイクル・プラザJB」が今年で稼働13年目を迎えます。今後は、飲料容器の変化に伴う施設の増強を実施し、

より循環型産業の構築に向け邁進してまいります。

## お客様に愛される企業に

ジャパンビバレッジグループが今後も自動販売機専業オペレーターNo.1としてお客様から信頼と愛情を持ってご満足していただくためには、お客様一人ひとりと向き合うことが大切だと考えます。そのための人財育成、体制の強化をはかり従業員5,400人が最大限の力を発揮してまいります。

末永いご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社ジャパンビバレッジホールディングス

代表取締役社長 井上和久

### 経営理念

私たちは、魅力ある商品と最高のサービスを通じて人々に潤いを提供し、喜びに満ちた空間と出逢いを創造します。

### モットー

#### 1. 「いちばん」を大切にします。

業界No.1のサービスと業績を目指します。

#### 2. 「もっと」を大切にします。

明日はどうかすれば、今日よりもっとよくなるかを考え、行動します。

#### 3. 「ちゃんと」を大切にします。

ちゃんとした管理・サービス・行動により高品質を維持し、信頼と安全をお届けいたします。

#### 4. 「やさしさ」を大切にします。

環境にやさしく、地域社会に歓迎されるよう努力を惜しみません。

#### 5. 「あなた」を大切にします。

喜びの創造に向け、「活き活き」とした魅力ある職場をつくります。

### ジャパンビバレッジグループのグリーン・オペレーション

提案 販売 回収 適正処理 資源再生  
をトータルでコーディネートしています。

お客様のニーズにあわせた各種自動販売機をご提案します。

オペレーションに使用する車輛は、低公害車・ハイブリッド車を計画的に導入しています。



回収した飲料空容器は、「リサイクル・プラザJB」をはじめ、全国のネットワーク企業でリサイクルを実施しています。



自動販売機の横に設置している「回収ボックス」の中の飲料空容器をきちんと回収し、支店に持ち帰ります。

特集

1-1

モットーをカタチに

# 「いちばん」を 「ちゃんと」届けたい

## カップ自動販売機事業

ジャパンビバレッジのカップ自動販売機は、本格レギュラーコーヒーをはじめとしたバラエティーに富んだ商品を取りそろえ、きめ細やかなオペレーション体制により最高品質の味をご提供しています。



### 新型カップ機 Smart Café® 登場

#### 「Smart Café (スマートカフェ)」のこだわり

カフェより安く、コンビニより近く、皆様においしいコーヒーを提供するため自動販売機機械メーカーの富士電機株式会社と共同で開発したSmart Café。

従来のカップ機と違ったスリムなデザインでオフィスにもなじむ外観。コーヒーはSmart Café用に開発したオリジナルブレンドを使用しています。こだわりのカップ自動販売機です。

#### 環境面にも対応

真空断熱材を搭載した温水タンクや高効率制御製氷機により、業界トップの低消費電力量849kW・hを実現しました。また、ノンフロン冷媒の採用によりグリーン購入法適合機種となっています。



Smart Café®仕様

- 機種名：FJX10
- 寸法：  
W550×D600×H1,700(mm)
- 年間消費電力量：849kW・h



#### 開発担当者に聞く

### Smart Café開発秘話を伺いました

富士電機様では、Smart Caféの完成に至るまで、設計および品質保証に関わる多くの方に携わっていただきました。また、コンパクトで省エネな機種にするために、ジャパンビバレッジと打合せを何度も重ねながら、機内レイアウトの配置検討や新規部品を使用する等、最新技術を駆使していただいております。開発担当の畔柳様からは、「ジャパンビバレッジの美味しさへのこだわりに合わせて、安心・安全を提供するため衛生面には十分配慮した自動販売機となっています。是非召し上がってみてください」とのお言葉を頂戴しました。



富士電機株式会社 食品流通事業本部 三重工場 設計第二部 設計第一課 課長補佐 畔柳 靖彦様



## Smart Café®の生産開始で記念式典

富士電機株式会社三重工場にて、Smart Caféの生産がスタートした2014年10月29日、記念式典が開催されました。ジャパンビバレッジホールディングスからは、開発に関わったカップ事業企画部、技術部、購買部が参加し、テープカットが行われました。



## コーヒーマイスター資格認定の取得

皆様によりおいしく飲んでいただくため、Smart Caféをはじめとしたカップ自動販売機は、ジャパンビバレッジオリジナルブレンドの開発や厳正な商品選定を行った原料を使用しています。

そのため、カップ事業企画部ではコーヒーに関する高度で幅広い知識や技術を習得するため、一般社団法人日本スペシャルティコーヒー協会が認定する資格「コーヒーマイスター」を全員が取得しています。

コーヒーマイスターの知識を生かし、皆様に美味しく安全な飲料を提供できるよう、日々努力を続けています。



コーヒーマイスター認定証



### オペレーション担当者の声

## お客様の「声」にお応えするために

「お客様から私たちは何を望まれているのか？」を良く考え、私たちがその「声」にお応えする為に何が必要であるかをユニット\*内で考え、討議しオペレーションに活かせるよう努めております。魅力ある売場づくりを目指し、当社の強みである豊富な品ぞろえの中から魅力ある商品を選びすぐり、お客様の『声』にお応えしております。お客様満足度の向上を最重要視した人財育成を心掛け、ユニット運営に日々、励んでおります。 \*部署内に於ける、10名前後の独立した運営体制



株式会社ジャパンビバレッジセントラル 名古屋西支店 スーパーバイザー 佐々木 久爾

特集

1-2

モットーをカタチに

# 「いちばん」を 「ちゃんと」届けたい

## パッケージ自動販売機事業

缶、ビン、ペットボトル、紙パック、ヌードル、その他食品、お菓子等製品化された商品を扱うパッケージ自動販売機。飲み終わった後の飲料空容器は、きちんと支店に持ち帰り、その後リサイクルおよび適正処理を実施しています。



### 豊富な商品ラインナップ

自動販売機は、オフィス、学校、工場、病院、公共施設等様々な場所に設置されています。ジャパンビバレッジグループは、お客様のご要望を伺いながら各場所や季節に合った飲料を選択し、ラインナップを決定しています。各飲料メーカーの売れ筋商品を取扱っている自動販売機オペレーターだからこそできる自動販売機をご提案しています。



商品ラインナップの一例

各飲料メーカーの商品を取扱うコンビ機



### がんばる“あなた”にほっと一息キャンペーンの実施

職場の皆様で「山分け」できるお菓子等が当たる「がんばる“あなた”にほっと一息キャンペーン」を実施しました。応募の際にはアンケートへのご協力をお願いします。頂戴した貴重なご意見は、今後の自動販売機の展開に役立てていきます。



#### オペレーション担当者の声

### 「一杯でも多く売れる自動販売機を作ろう!!」が秋田支店の合言葉。

「より良い職場がより良い自動販売機をつくり、顧客満足につながる」と考え、人財育成とコミュニケーションづくりに努めています。その結果、活発な意見が飛び交うようになり、また情報の共有もできております。一人一人が自発的に考え行動することにより、環境問題も含めお客様のニーズに対応できる自動販売機づくりができるようになり、お客様から喜ばれるようになりました。



株式会社ジャパンビバレッジ東北 秋田支店 アシスタントスーパーバイザー 最上 潤



## 缶・ビン・ペットボトル再資源化工場「リサイクル・プラザJB」

### 「リサイクル・プラザJB」とは

ジャパンビバレッジグループの缶・ビン・ペットボトルをリサイクルする工場として2003年5月に設立。東京・埼玉・千葉・群馬の各支店が回収してきた缶・ビン・ペットボトルが毎日運ばれ、各容器別にリサイクルを実施しています。特に缶は、金属加熱炉を使用して純度の高いペレットにまでリサイクルしています。年間約8,200tの再資源化を実施しています。



リサイクル製品(スチールペレット・アルミペレット)



工場外観



手選別ライン



金属加熱炉

### リサイクルの様子を生で体感!

工場見学の受入れも実施しており、年間約1,300名の方にリサイクルの様子を体感していただいております。



工場見学の様子



### 担当者の声

### 飲料空容器のリサイクルを日々実施しています

リサイクル・プラザJBは設立から12年が経過し、これまで87,000tの飲料空容器のリサイクルを実施してきました。リサイクルを行う上で一番困ることは、回収袋の中に空容器以外の様々な異物が含まれていることです。これらを分別するには多くの手間が掛かり、リサイクルの妨げにもなっています。皆様には今後とも分別へのご協力をお願い致します。



株式会社ジャパンビバレッジエコロジー リサイクル・プラザJB 副工場長 佐藤 康史

モットーをカタチに

# 「いちばん」を 「ちゃんと」届けたい

特集

1-3

## リテール事業

オフィスでの休憩に欠かせない給茶機、コーヒーサーバー、ウォーターサーバー等を取扱っています。省エネにも対応した機械を開発・採用し、環境面にも配慮しています。また、スープやお菓子などの商品販売も行っています。



### MDS マルチドリンクサーバー（給茶機）

ジャパンビバレッジがオリジナルで開発した給茶機は、お茶以外にも、コーヒー、機能性飲料等のご提供が可能です。また、機械には便利で使いやすい機能が多数搭載されています。

#### マイクロピュア活性炭浄水器搭載

高性能浄水器を標準搭載しているので、いつでもお茶やコーヒーを美味しくお飲みいただけます。



MDS-K13

MDS-S13

TSJ

#### 濃いめ、熱めボタン付

それぞれのお好みに合わせた味や温度の調整が可能です。



#### カセットタンクキャスター付

内蔵タンクの場合は、水の入替が必要です。ジャパンビバレッジオリジナルの給茶機は、キャスターが標準装備されていますので容易に運ぶことができます。



#### 環境面にも配慮

省エネへの対応も行っています。

#### MDS-K13

省エネ運転タイマー機能搭載、時間・曜日別に設定が可能。熱効率の最適化を図るため真空断熱材を使用

消費電力量 73.5kWh/月

#### MDS-S13

消費電力を制御する超省エネモード・学習省エネ機能、お休みタイマーなどの稼働制御機能を搭載  
業界初CO<sub>2</sub>冷媒採用

消費電力量 54kWh/月



## 新商品 ENA Micro1 (2015年試験運用中)

コーヒーサーバー-ENA Micro1の取扱いを開始しました。香り高いコーヒーを淹れるための機能(アロマ保存カバー、アロマグラインダー、マイクロブリューイングユニット)を搭載していますので、いつでも挽きたて淹れたてのコーヒーをお楽しみいただけます。また、省エネにも対応。1か月わずか550円程度※の電気代を実現しています。

(※通常使用時)



## ご愛顧感謝キャンペーンの実施

お客様の日頃のご愛顧に感謝をこめて、秋冬の期間限定で「ご愛顧感謝キャンペーン」を実施しています。その季節にあった飲料、スープ、即席食品、お菓子等を特別価格で販売。また、各食品企業と共同で作成したオリジナルの詰め合わせ商品も、ご用意しています。



## お客様とのコミュニケーション

お客様先を定期的に訪問させていただいています。お伺いした際は、機械点検、簡易清掃、商品販売、新商品のご案内等をさせていただくほか、お客様が現在お困りなこと、必要としている事なども相談に乗らせていただいています。お客様から色々なお話をお伺いすることでコミュニケーションをとらせていただきながら、日々業務を行っています。



### ルートセールス担当者の声

## お客様から信頼されるため「ちゃんと」を心掛けています

私が日々心掛けていることは「ちゃんと」です。定期的に訪問することで、お客様との信頼関係を築き、この人なら安心して任せられると思っただけの存在になることを目指しています。また、お客様のご要望の1つに環境の負荷低減があります。その場合、老朽機の交換やタイマー設定によるご利用時間外の休止などについてご提案させていただいております。お客様それぞれのご要望に対応できるよう取組んでおります。



株式会社ジャパンビバレッジウエスト リテール大阪支店 ルートセールス 小數賀 春奈

特集

2

# ジャパンビバレッジは お客様と共に持続可能な 社会の実現に力をそそぎます

ジャパンビバレッジグループの基本テーマの「グリーン・オペレーション」。このテーマは、「提案」「販売」からスタートします。お客様のニーズにあわせた各種自動販売機をご提案いたします。また、使用する自動販売機は省エネに取り組んでいます。



## 自動販売機の省エネについて

自動販売機は消費電力量が大きいと思われがちですが、ヒートポンプ機の普及や機内の装置の改良等により年々減少しています。

実際に皆様の身の回りにある家電製品と自動販売機の消費電力量を比較しました。どのくらいの消費電力量なのかの目安にしてください。

例

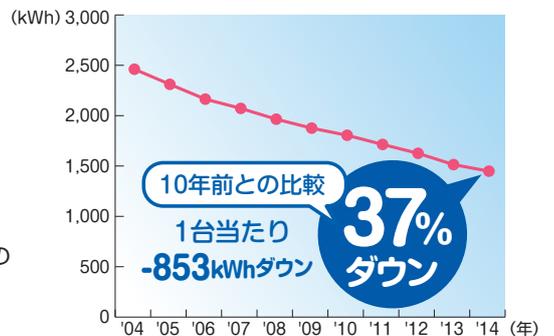


パッケージ自動販売機  
(20セクション・2012年製)  
の消費電力量  
**789kWh/年**



電気ポット  
(5.0ℓ・2013年製)  
の消費電力量  
**564kWh/年**

自動販売機1台当りの平均消費電力量(稼働全台数)



## 自動販売機のご提案

ジャパンビバレッジグループは、お客様のご要望をお伺いし、様々な種類の中から最適な自動販売機をご提案いたします。また、それにあわせて省エネへの対応もご提案可能です。



### 営業担当者の声

## 顧客満足度の向上を目指します

日々の営業活動の中で大事なことは、お客様が何を期待し何を求めているのかを知る事だと考えています。そのため、お客様の声に耳を傾け、お客様の立場に立って考える事を心がけています。最近は環境面での問い合わせも多く、新型カップ機や売場改善の提案も積極的に行っています。ジャパンビバレッジを選んで良かったと言ってくれたい。最善の情報をお客様に提供するとともに、最終的には1杯1杯飲んでいただくお客様を創造しながら、顧客満足度向上のためにこれからも活動していきます。



株式会社ジャパンビバレッジ中四国 営業開発部 営業担当課長 井上 いづ美



## 自動販売機を通じたCSR活動のご提案

お客様先でのCSR活動にお役に立てるご提案も用意しています。  
ここではその一例をご紹介します。

### 「森づくり・人づくり」に貢献できる緑の募金つき自動販売機

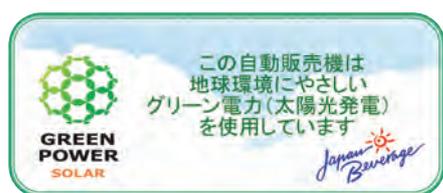
自動販売機の売上金の一部をお客様とジャパンビバレッジグループがそれぞれ公益社団法人国土緑化推進機構へ寄付する仕組みの自動販売機。

緑の募金は「森づくり(水源林の整備、災害防止、里山の再生等)・人づくり(森林ボランティアリーダー育成、森林・環境教育等)」の活動に役立てられています。



### グリーン電力証書つき自動販売機

太陽光などの再生可能エネルギーが生み出した電力による「環境価値」を見える化し、市場での取引を可能にしたものが「グリーン電力証書」です。この「グリーン電力証書」で自動販売機の消費電力量をオフセットすることができます。



グリーン電力証書

## トピックス

### 林野庁長官より感謝状授受

2007年から実施している「緑の募金」への取組みに対し、林野庁長官より感謝状が贈呈されることとなり、2014年10月28日に林野庁長官室にて授与式が開催されました。



感謝状



林野庁長官室にて感謝状授受

# 地域に根ざした 独自の活動を進めています

ジャパンビバレッジグループは、各地域・部署による特性を生かし、独自の環境保全活動や地域貢献等への取組みを行っています。ここではその一例をご紹介します。

## 株式会社ジャパンビバレッジ東京 足立支店

### スキルアップ講習会を毎週実施

毎週水曜日の朝礼後、カップ担当ルートセールスを対象としたスキルアップ講習を実施しています。カップ自動販売機スキル項目全83個の中から毎週異なる項目を選択し、メンテナンス担当者が指導しています。最新機種Smart Caféの機内構造についても、これまでのカップ自動販売機と異なる部分があるため、重点的に実施。毎週継続して実施していくことがスキルアップにつながると考え、地道に取り組んでいます。



自動販売機内を実際に見ながら講習



水フィルター取付指導

## 株式会社ジャパンビバレッジセントラル 岐阜東支店

### 毎日の安全運転啓発で無事故を目指しています

岐阜東支店では、朝礼の司会当番が自身で考えた安全運転啓発内容を毎日発表しています。これまで発表された内容は、自身のヒヤリハット体験、高速道路走行時の事故防止、路面凍結時の対応、また年配者が多い地域の歩行者への注意事項など、地域特有の事故防止も含め様々です。この実施により安全運転やエコドライブはもちろん、皆に何を伝えたいかを考え、自分の言葉で発表する良い機会にもなっています。



岐阜東支店の皆さん



朝礼の様子



# JB環境ネットワーク会は 循環型社会の構築に 取組みます

## JB環境ネットワーク会とは

大手飲料事業者18社が会員となり、飲料空容器の循環型産業の構築と低炭素社会の実現を目的として発足した任意団体です。環境保全に関する調査研究および環境関連の知識・情報等の普及を図り、あらゆる環境保全活動を推進しています。

(五十音順)

JB環境ネットワーク会 会員企業 18社	カゴメ株式会社	東罐興業株式会社	ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社
	キーコーヒー株式会社	凸版印刷株式会社	三井農林株式会社
アサヒ飲料株式会社	キリンビバレッジ株式会社	株式会社ドトールコーヒー	株式会社明治
味の素ゼネラルフーズ株式会社	サントリーフーズ株式会社	日本たばこ産業株式会社	UCC上島珈琲株式会社
大塚ウエルネスベンディング株式会社	株式会社ジャパンビバレッジホールディングス	ネスレ日本株式会社	和光堂株式会社

[事務局]株式会社ジャパンビバレッジエコロジー

### ●JB環境ネットワーク会 2014年度の主な活動内容

- ◎飲料空容器の循環型産業の構築
- ◎シンポジウム・報告会の開催
- ◎第4回「ぼくとわたしのリサイクル」作文コンクールの開催
- ◎環境保全活動への支援

## 第4回「ぼくとわたしのリサイクル」作文コンクールの実施

リサイクル・プラザJBを見学いただいた小学生を対象とした作文コンクールを毎年開催しています。開催期間中(2014年7月12日～9月13日)は、リサイクル・プラザJBには194組974名の方にお越しいただき、応募作文数は227通にのびりました。厳正な審査を経て受賞者を決定しています。なお、表彰式は11月16日にリサイクル・プラザJBで行いました。



表彰式

## 「美しい沖縄・美しい地球・美しい未来への架け橋」を テーマにシンポジウムを開催

JB環境ネットワーク会が主催する「沖縄シンポジウム」は、2009年より毎年開催しております。沖縄県内で環境保全活動に取り組む、行政・学校・団体等と一般の方々に参加いただき、県内の小学校が取り組む環境保全活動の発表や、外部有識者による基調講演等を行っております。様々な環境情報の共有・発信を本シンポジウムを通じて実現しています。



沖縄シンポジウム

## 環境方針 (一部抜粋)

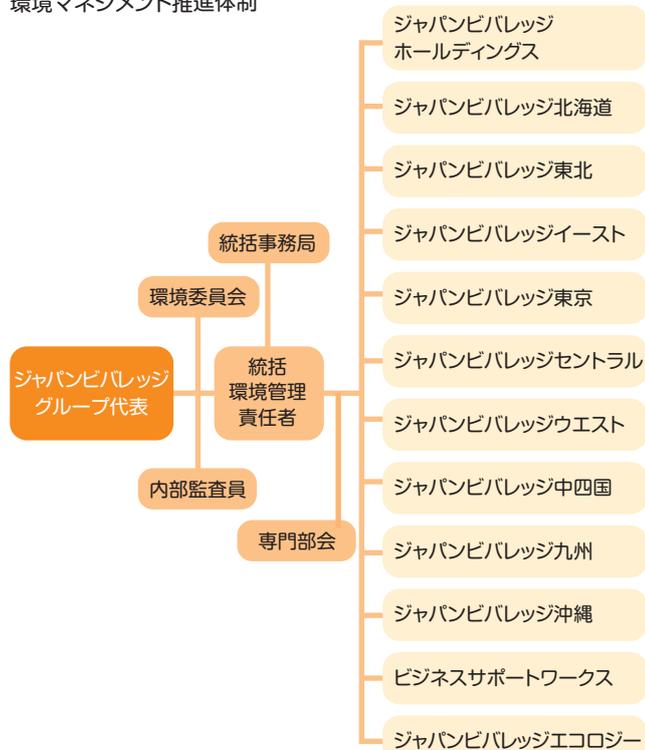
### 基本理念

ジャパンビバレッジグループは、地球環境が尊い資産であることを認識し社会に貢献する企業であり続けるために、事業及び社員一人一人の行動を通じ、あらゆる面での環境保全を積極的に推進し、潤いと喜びに満ちた持続可能な社会の創造を目指します。

## 環境マネジメントシステム

ジャパンビバレッジグループの環境マネジメントシステムを継続的に推進するため、組織、役割および責任を定めています。現在は、グループ12社の本社・支店の合計119サイトで運用を行っています。

環境マネジメント推進体制



※ジェイビーサービス、日新サービスは除く

## 内部監査の実施

環境マネジメントシステムが適切に実施され、維持されているかどうかを確認するため、毎年ジャパンビバレッジグループの全119サイトの内部監査を実施しております。

内部監査の後には、各サイトの監査評価の統一を図るため調整会議を実施しています。



内部監査調整会議の様子

## ISO14001定期審査の実施

2014年9月9日～11日にエイエスアール株式会社による定期審査を実施。13サイトに審査が入りました。なお、10月15日に認証継続となりました。



エイエスアール株式会社による定期審査の様子

## 環境研修の実施

環境に関する力量維持・アップのための環境管理者研修、環境一般研修を実施しています。また、それ以外に著しい環境側面に関わる研修を各サイト毎に独自で計画し、実施しております。



ジャパンビバレッジイーストエコドライブ講習

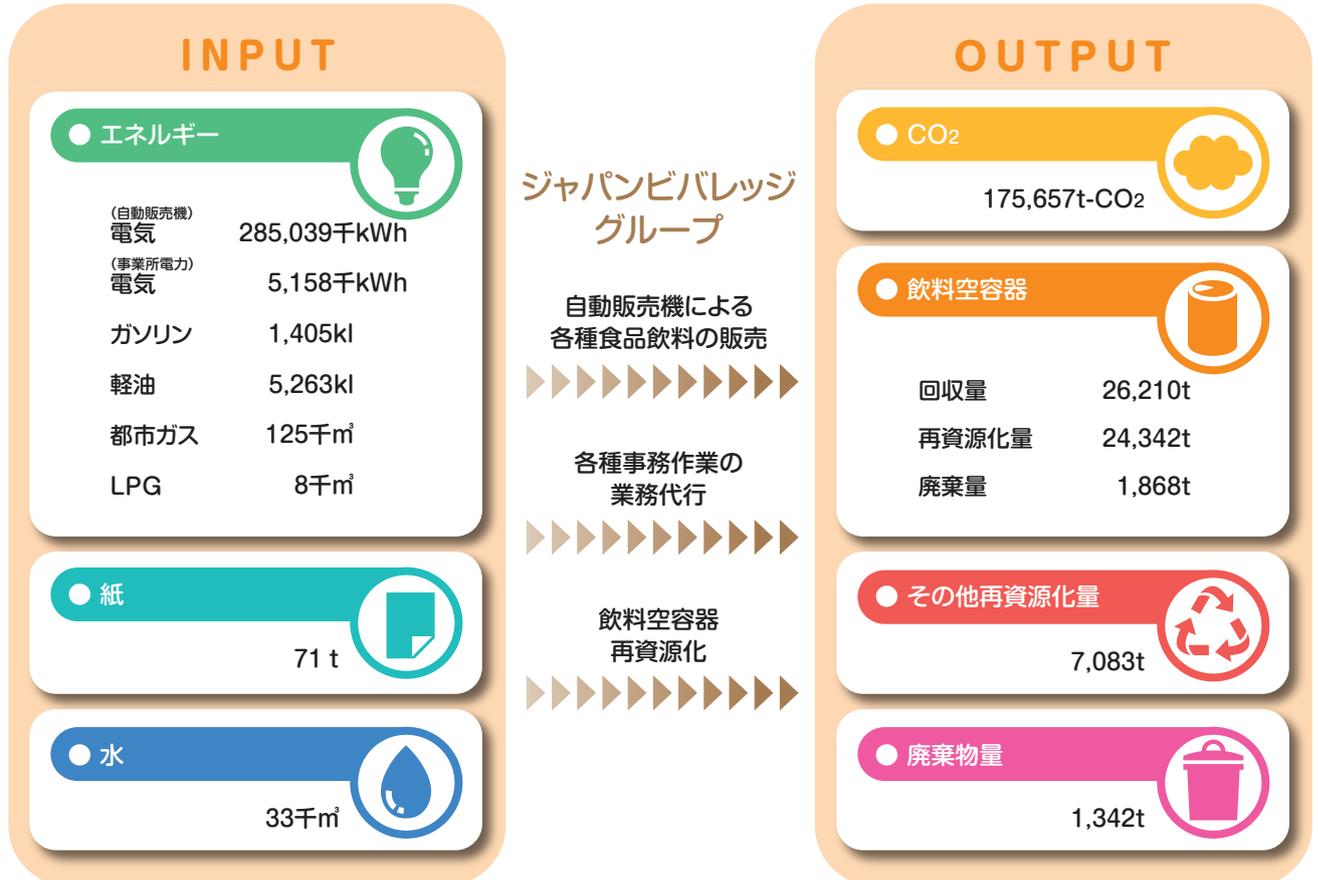
● 環境目標と実績

エコ指数の改善

エコ指数は、自動販売機、車輻燃料、事業所電力によるCO<sub>2</sub>排出量と売上総利益の数値を使用したジャパンビバレッジグループの独自の数値です。目標値は前年度比1%以上の改善を目指して活動しています。2014年度は、全項目達成となりました。

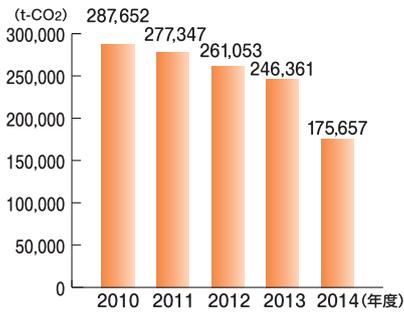
項目	エコ指数	目標値	2013年度 エコ指数	2014年度 目標値	2014年度 エコ指数	達成率	評価
自動販売機の消費電力量	$\frac{\text{自動販売機の消費電力量によるCO}_2\text{排出量 (kg-CO}_2\text{)}}{\text{売上総利益 (千円)}} \times 1,000$	エコ指数 前年度比 1%改善	4,156.47	4,114.91	3,900.84	目標対比 105.5%	○
車輻の燃料 (ガソリン・ 軽油・LPG)	$\frac{\text{車輻の使用燃料によるCO}_2\text{排出量 (kg-CO}_2\text{)}}{\text{売上総利益 (千円)}} \times 1,000$	エコ指数 前年度比 1%改善	426.42	422.16	415.48	目標対比 101.6%	○
事業所 電力使用量	$\frac{\text{事業所の使用電力量によるCO}_2\text{排出量 (kg-CO}_2\text{)}}{\text{売上総利益 (千円)}} \times 1,000$	エコ指数 前年度比 1%改善	76.52	75.75	70.59	目標対比 107.3%	○

● 事業活動における資源投入量と排出量



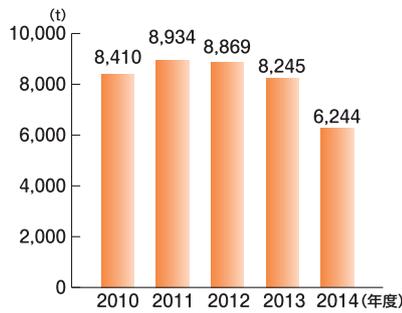
(二酸化炭素の算出方法について) 「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく換算係数を適用

### CO<sub>2</sub>排出量推移

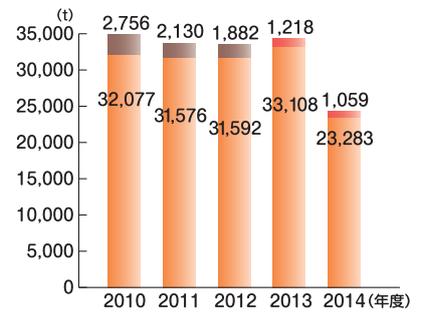


※2014年度は9か月間の数値となっております。

### 再資源化処理量推移 (リサイクル・プラザJB)

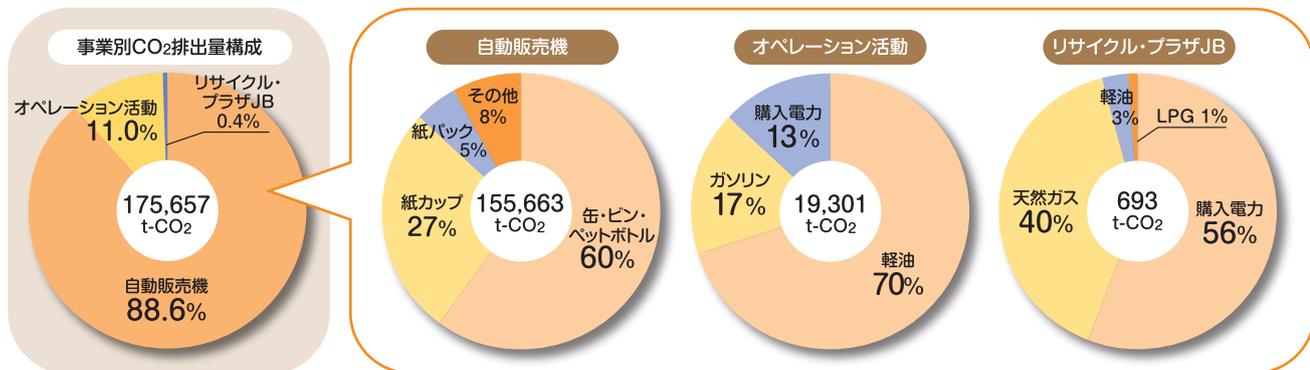


### 再資源化処理量推移 (リサイクル・プラザJBを含む)



缶・ビン、ペットボトル 紙カップ、紙バック  
 ※2013年度より紙カップ、紙バックの再資源化量にサーマルリサイクルを含まない。

### 2014年度事業別CO<sub>2</sub>排出量構成比



### 第三者意見



公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・  
 コンサルタント・相談員協会 (通称NACS)  
 理事・環境委員長  
 大石 美奈子氏

持続可能な社会の形成には消費者と事業者の環境コミュニケーションが不可欠です。なぜなら、消費者が環境に配慮した商品を選択するには、原料調達から、輸送、製造、使用、廃棄・リサイクルまでの「商品の一生」を知る必要があるからです。今回「コーヒーの一生」のうち、流通や販売の様子がよくわかりました。

海外の方は、日本の飲料自動販売機の多さに驚かれるようです。しかも、電気を

使い続けるため環境配慮とは結びつきにくく、本当にこれだけの台数が必要なのかと感じていました。

しかし、このレポートで、御社が省エネや省資源の新型機種の開発、飲料空容器のリサイクルなど、企業責任として環境負荷の低減に向け、努力を重ねていることがよくわかりました。「改正フロン法」が施行されましたが、フロンガスの適正管理から一歩進んだCO<sub>2</sub>冷媒自動販売機への転換も今以上のスピードで進めていってください。

飲料空容器のリサイクル工場の見学会は、消費者とのコミュニケーションとして欠かせない素晴らしい取組みです。容器の排出時に消費者が何を行うべきか気づかせてくれるはずですよ。

リデュース・リユース・リサイクルの3Rの中で、一番重要なのはリデュースです。飲料を紙コップで提供することで、鉄、アルミニウム、プラスチックなどの容器を使わずに済む、すなわち資源削減につな

がっているのですから、このことをもっと強調してもよいのではないのでしょうか。

自動販売機を福利厚生の一環として普及する総合食品オペレーター役を、御社は十分に果たしておられます。しかし、さらに持続可能な社会を目指すのであれば、原料を栽培する人々、その土地、動植物に負荷をかけない茶葉やコーヒー豆を選んでください。消費者は商品のものがたりを知ることで、さらに幸せな気持ちで飲むことができるでしょう。期待しています。

### PROFILE

福岡県生まれ山口県育ち。奈良女子大学家政学部食物学科卒業後、高等学校家庭科教諭・非常勤講師の傍ら1995年に消費生活アドバイザー資格を取得し牛乳乳製品や無洗米の消費者相談室にも勤務。2006年よりNACS環境委員会に所属、持続可能な暮らしにむけて「商品の一生を知ろう」をテーマに消費者と行政・企業をつなぐべく活動している。企業のステークホルダーミーティングや省庁の審議会等にも積極的に参加、2012年より理事・環境委員長。



## 「Japan Beverage Report 2015」を お読みいただき、ありがとうございました。 皆様のご意見、ご感想をお寄せください。

本レポートは、ジャパンビバレッジグループの理念と事業の現状、  
および環境の取組みをステークホルダーの皆様にはわかりやすく  
お伝えすることを目的に発行しています。

皆様からご意見、ご感想をいただき、  
活動の内容や本レポートをより良いものにしていきたいと考えております。  
つきましては、お手数ですが裏面のアンケートにご記入の上、  
ファックスにてお送りいただくと幸いです。

2015年5月

本レポートに関するお問い合わせ先

株式会社ジャパンビバレッジエコロジー

〒331-0811 埼玉県さいたま市北区吉野町2丁目272番地5

TEL:048-651-1166 FAX:048-651-6611

ホームページ <http://www.jbinc.co.jp>

### 「Japan Beverage Report 2014」のアンケート結果



ご意見をふまえ、  
内容をよりわかりやすくするため  
右記の通り改善を図りました

#### 全体評価



#### 内容のわかりやすさ



#### ご意見(一部抜粋)

- 自社でリサイクル、省エネに関する取組みを行っているため透明性があると感じました。
- 環境や再資源化の「先」を考える取組みを行っていて良いと思いました。
- 今後リサイクルの取組みを強化してほしい

- 事業内容に関わる環境への取組みについて皆様により知っていただくため、各自動販売機事業、リテール事業について見開きページで掲載しました。
- リサイクルについて身近に感じていただくため、特集1にて「リサイクル・プラザJB」および従業員の「声」を掲載しました。

# 「Japan Beverage Report 2015」へ 皆様のご意見、ご感想をお寄せください。

**Q1** 本レポートを読んでどのように感じられましたか？

- 全体評価 ……………  良い  普通  良くない  
内容のわかりやすさ ……………  わかりやすい  普通  わかりにくい

**Q2** 本レポートのなかで関心のあった内容をお聞かせください(複数選択可)。

- ジャパンビバレッジグループの概要(p2)  
 トップメッセージ(p3-4)  
 「いちばん」を「ちゃんと」届けたい【カップ自動販売機事業】(p5-6)  
 「いちばん」を「ちゃんと」届けたい【パッケージ自動販売機事業】(p7-8)  
 「いちばん」を「ちゃんと」届けたい【リテール事業】(p9-10)  
 ジャパンビバレッジはお客様と共に持続可能な社会の実現に力をそそぎます(p11-12)  
 地域に根ざした独自の活動を進めています(p13-14)  
 JB環境ネットワーク会は循環型社会の構築に取り組みます(p15)  
 環境マネジメント&パフォーマンス報告(p16)  
 第三者意見(p18)

**Q3** ジャパンビバレッジグループの取組みについてのご意見・ご感想、良い点や改善すべき点があればお書きください。

**Q4** どのようなお立場でお読みになりましたか。

- お客様  近隣住民の方  お取引先  政府・行政関係  教育・研究関係  
 金融・投資関係  NGO・NPO  報道機関  企業のCSR・環境担当者  
 ジャパンビバレッジグループの社員・家族  学生  その他( )

**Q5** あなたのプロフィールについてお聞かせください。

- 年 齢 ……………  10代  20代  30代  40代  50代  60代  70代以上  
性 別 ……………  男性  女性

株式会社ジャパンビバレッジエコロジー 環境部

**FAX:048-651-6611**



## ジャパンビバレッジグループ

ホームページ <http://www.jbinc.co.jp>

●発行・お問合わせ先

株式会社ジャパンビバレッジエコロジー

〒331-0811

埼玉県さいたま市北区吉野町2丁目272番地5

TEL:048-651-1166 FAX:048-651-6611



この印刷物は、有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。また、大豆油インキを包含した植物油インキと適切に管理された森林の木材を利用した FSC 認証用紙を使用しています。